

血液センターからのお知らせ

令和6年度 山梨県合同輸血療法委員会
第1回 血液製剤の需給に係る連絡会議



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

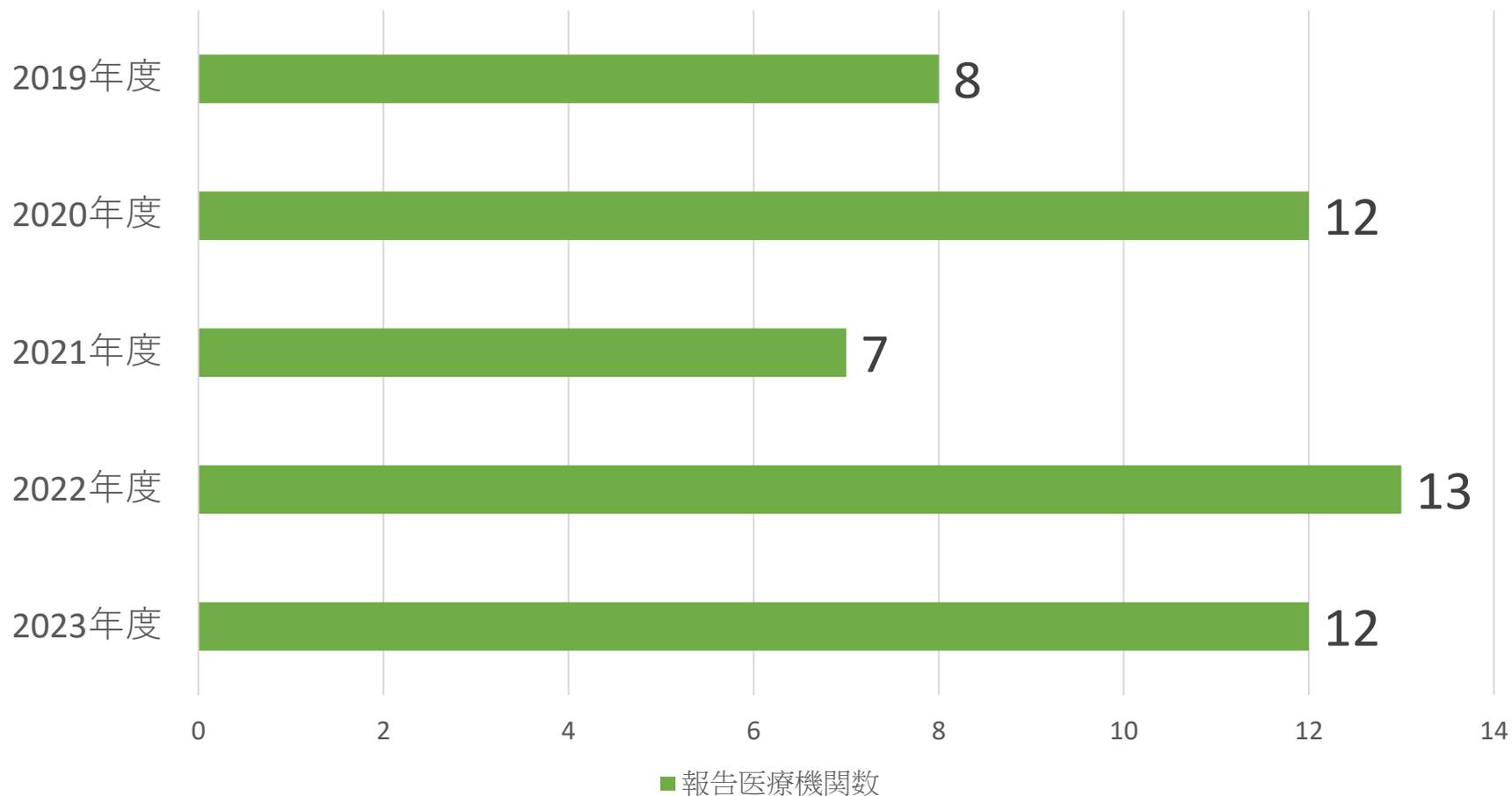
山梨県赤十字血液センター
学術情報・供給課

- I. 山梨県内の輸血副作用発生状況（2023年度）
 - II. 不規則抗体同定検査の受託について
 - III. その他
- 

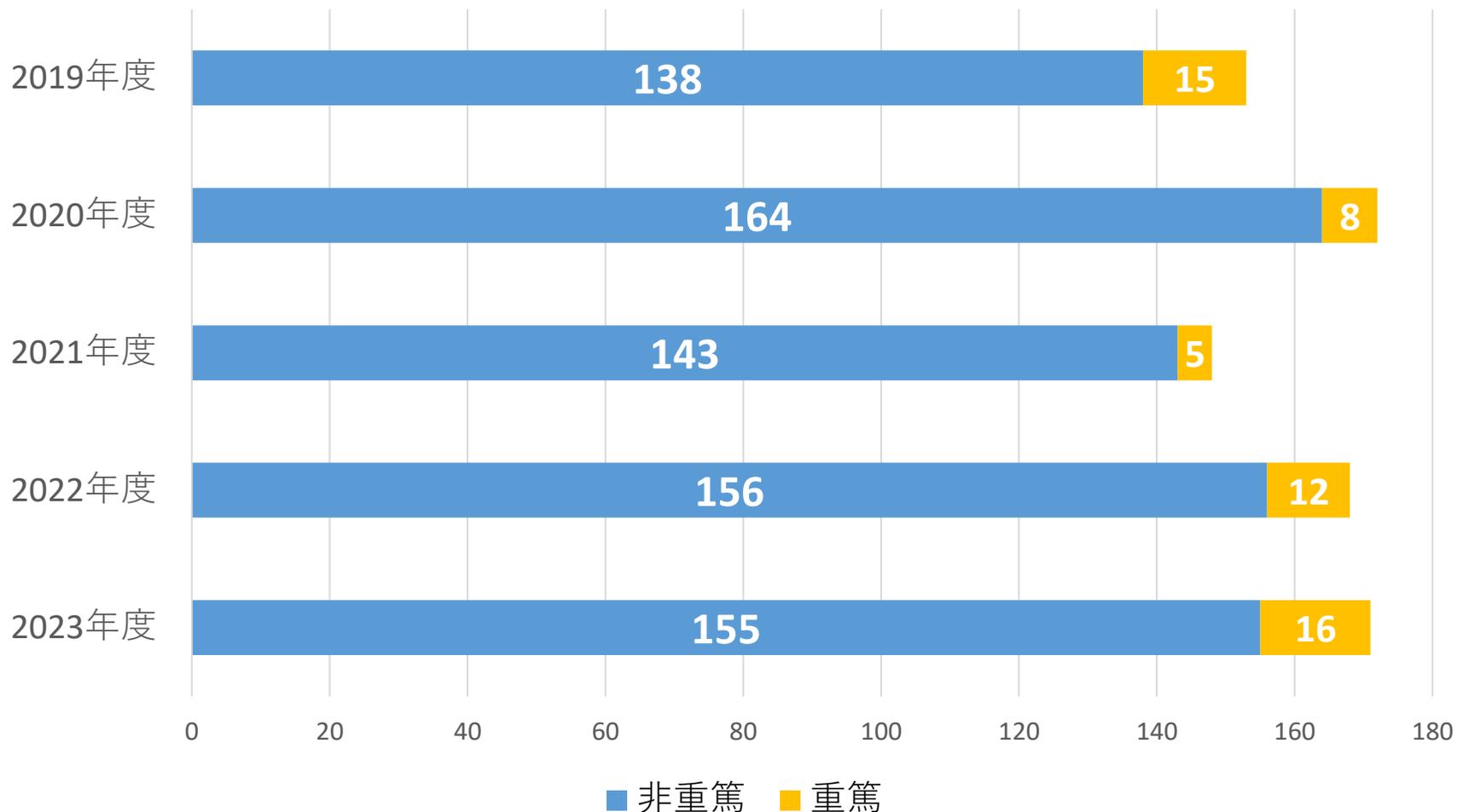
1. 山梨県内の副作用発生状況（2023年度）



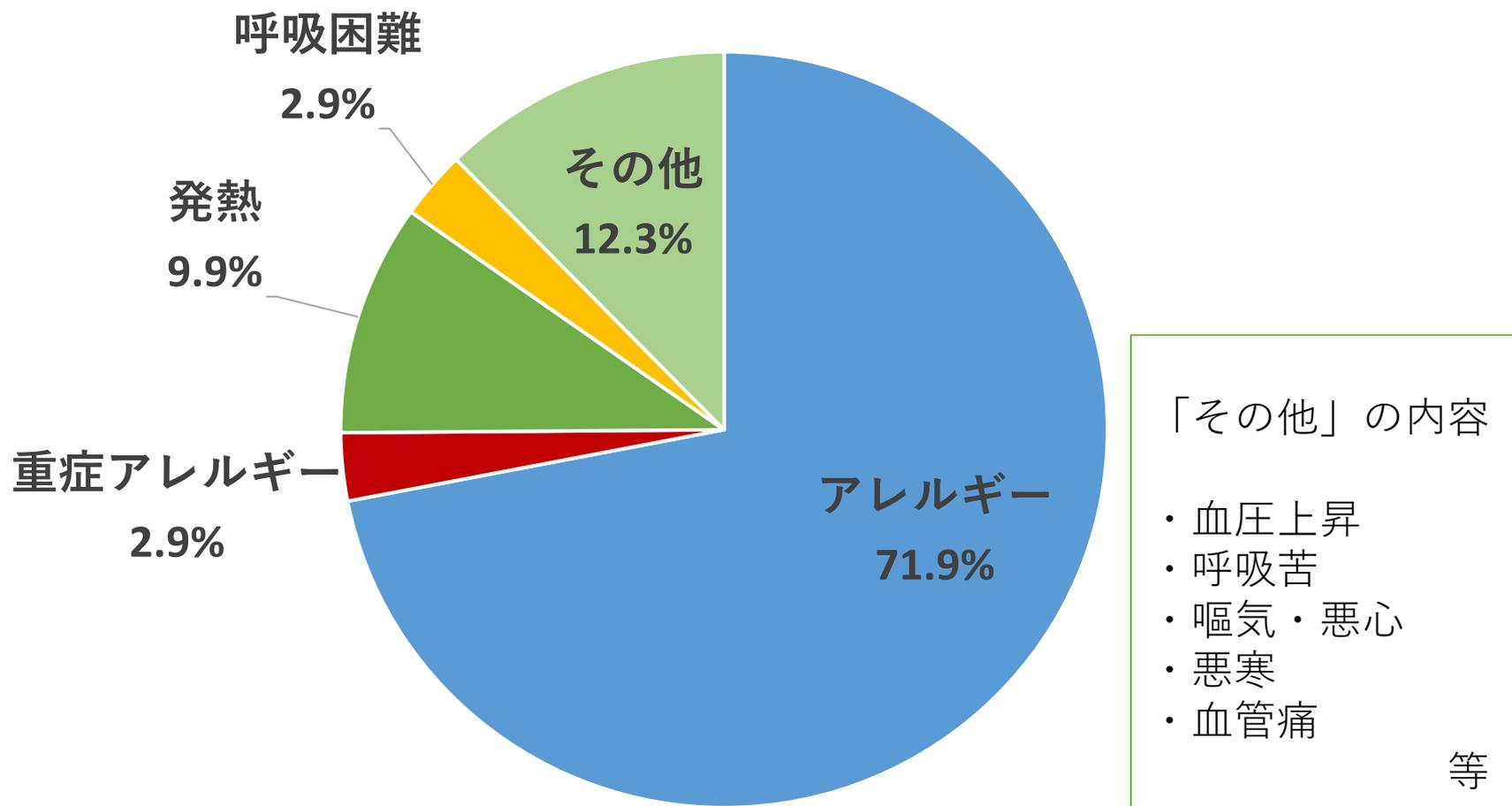
山梨県赤十字血液センターに報告のあった 輸血副作用報告施設数の年次推移



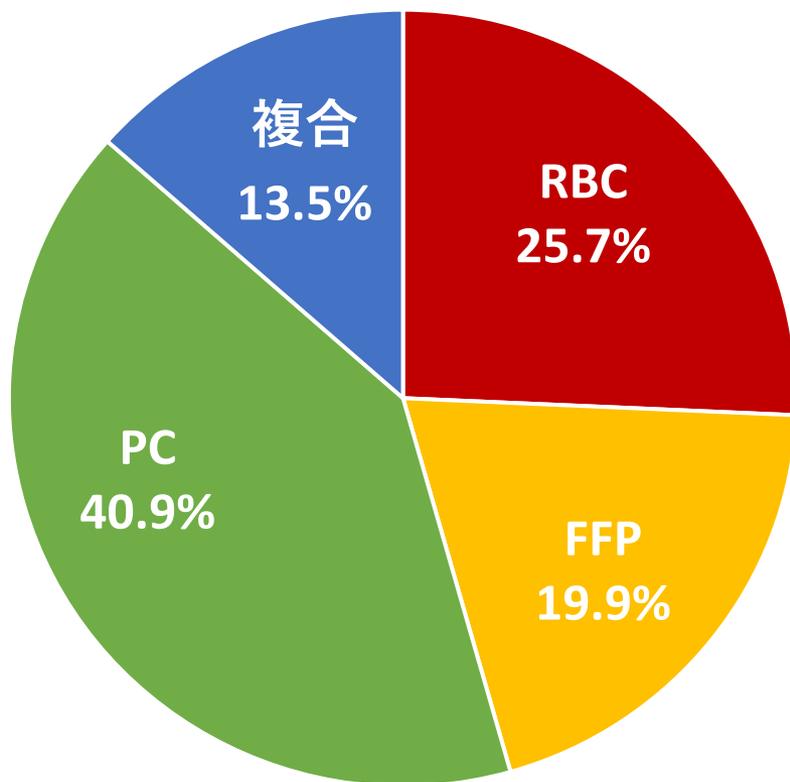
山梨県赤十字血液センターに報告のあった輸血副作用発生件数の年度推移（重篤度別）



山梨県赤十字血液センターに報告のあった 輸血副作用の症状別割合（2023年度）



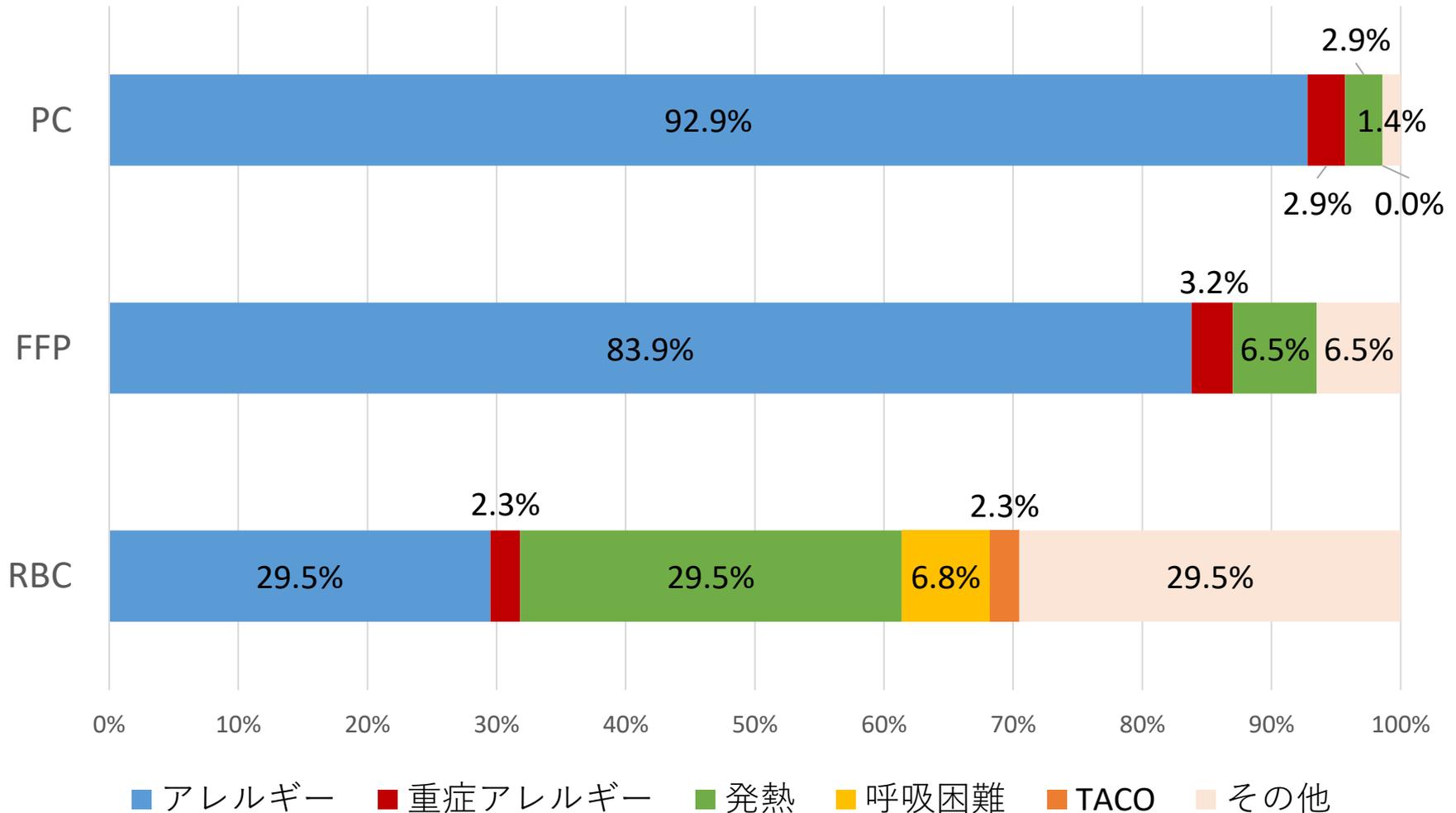
山梨県赤十字血液センターに報告のあった輸血副作用の使用製剤別発生割合（2023年度）



【供給本数に対する発生割合】

赤血球製剤	0.22%
血漿製剤	0.69%
血小板製剤	2.01%

山梨県赤十字血液センターに報告のあった輸血副作用の製剤別症状割合（2023年度）



【参考】副作用報告方法（山梨）

輸血副作用・感染症発生連絡票(山梨)

FAX 送信日： 年 月 日

医療機関名	病院				科		担当窓口	
	報告医名						担当者名	
患者(シヤク)	(姓)	(名)	性別	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女	年齢	歳		
原疾患				アレルギーの有無		なし	あり ()	
副作用・ 感染症名				発現日	年	月	日	
				輸血開始から		時間	分	
対象製剤名	製造番号			輸血日	発現後の処置(中止・継続等)			
重篤性	<input type="checkbox"/> 重篤 <input type="checkbox"/> 非重篤		転帰	転帰日： 年 月 日現在				
	<input type="checkbox"/> 死亡(副作用による) <input type="checkbox"/> 死亡でないが重篤			<input type="checkbox"/> 回復 <input type="checkbox"/> 軽快 <input type="checkbox"/> 未回復				
因果関係	副作用と輸血との因果関係： <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし			<input type="checkbox"/> 死亡 → (死因：)				
副作用の 状況	発熱	なし	あり ()	℃	→	℃		
	血圧変動	なし	あり ()	/	mmHg	→	/	mmHg
	脈拍変動	なし	あり ()	/min	→	/min		
	呼吸困難	なし	あり (SatO ₂	%	→	%)		
	肺水腫	なし	あり (口片側性	口両側性)				
皮膚症状	なし	あり (症状：)						
その他の症状等								
感染症の 状況	ウイルス・マーカーの陽転化・細菌培養試験等の状況：							
	輸血前後の検査(参考) HBV：前 HBs Ag 後 NAT、HCV：前 HCV-Ab 後 HCV-コア抗原 or NAT							

宛先 山梨県赤十字血液センター 学術情報・供給課 FAX:055-220-3161

(2版)

【記入方法注意点】

担当窓口：輸血窓口部署（例：検査科）
をご記入ください。

担当者名：輸血窓口の担当者名を
ご記入ください。

発現後の処置：副作用発現後の対応を
ご記入ください。

例) 輸血中止
輸血終了時出現
輸血継続
薬剤投与し輸血再開 等

副作用の症状：なし・ありに○を付け、
「あり」の項目のみ
数値をご記入ください。

その他連絡事項等がございましたら
余白にご記入ください。

【参考】 副作用報告方法（山梨）

【お願い】

- ✓ 発生連絡票は輸血担当窓口の方が記入し電話（血液センター学術宛て）後、**発注FAX番号（055-220-3161）**へFAXして下さい。FAX送信票は不要です。
（基本的には平日日中帯対応。）
- ✓ 重篤又は、血液事業本部で重篤と判断された場合には、「**詳細調査票**」と、副作用症状によっては**検体や輸血後の製剤バッグ等**のご提出をお願いする場合があります。「詳細調査票」は担当医にご記入を依頼してください。
- ✓ 非重篤の場合は「輸血副作用調査の終了について」の文書を持って調査終了となります。
- ✓ 副作用が発生した場合には速やかに報告をお願いします。

II. 不規則抗体同定検査の受託について



不規則抗体同定検査 受託基準

✓ 輸血する予定がある又は可能性がある

- ・ OPE 予定で輸血の可能性がある
- ・ 疾患の影響でHbが低下する恐れがある
- ・ 妊婦

✓ 不規則抗体同定用パネル血球による検査で同定不可能のもの

- ・ ダラツムマブ等、抗CD38治療薬の投与歴があり自施設でDTT試薬の準備が間に合わない場合（原則初回のみ同定検査を受託します。）
- ・ 低頻度抗原に対する抗体を疑うような症例

※スクリーニング検査のみ実施の場合

スクリーニング血球のすべてに凝集を認め、自己抗体または高頻度抗原に対する抗体を疑う場合は、同定検査未実施でも受託可能です。

赤血球依頼検査の検査体制



医療機関



山梨県赤十字血液センター

関東甲信越ブロック血液センター 埼玉製造所 検査一課

依頼検査実施時間：土日祝日を除く9時～17時

電話対応可能時間：土日祝日を除く9時～17時

※基本的には上記時間以外は対応できません。

依頼検査の混み状況や緊急度によって検査結果の報告が遅くなる場合もあります。
ご理解のほどよろしく申し上げます。

不規則抗体同定検査 結果報告

関東甲信越ブロック血液センター埼玉製造所検査一課より、検査結果第一報が、依頼書に記載した「ご連絡先」へ電話で連絡が行きます。

その後、1～2週間後に書面での検査結果が郵送で届きます。

※書面での検査結果を早めにほしい場合、2週間程度経ったが郵送で届かない、などの場合は山梨県赤十字血液センターまでご相談ください。

その他

- ・ 検査を依頼する場合には**検体採取前**に山梨県赤十字血液センターにご連絡ください。依頼検査に関する問い合わせは、基本的には平日日中帯にお願いします。

（患者情報や検査結果の詳細、検査の緊急度などを確認させていただきます。）

- ・ **ABO**亜型検査の依頼をご希望の場合にも、まずはご相談ください。（輸血のための血液型が決定できる場合には検査を受託できない場合があります。）

IV. その他



定時配送へのご協力をお願い

真に緊急を要する発注に対応するために血液センターに待機する車両を確保できるように、定時配送便率の向上を目指しています

令和6年8月 定時配送便率 **81.1%** (目標80.0%)

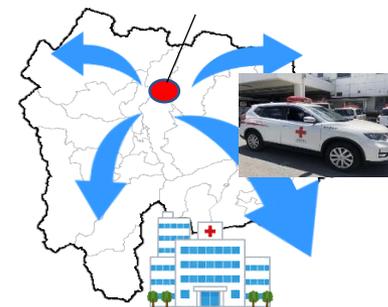
※定時配送便率 = 定時配送便出動率 / 定時配送便出動数 + 定時外発注件数



定時配送にご協力ありがとうございます。

定期外発注の背景

- ✓ 消化管出血
- ✓ 緊急手術
- ✓ 患者急変
- ✓ 手術準備血を使用した
- ✓ 救急・外来での貧血補正
- ✓ 透析中の貧血補正
- ✓ 入院患者の貧血補正
- ✓ 発注忘れ



緊急時には可能な限りご対応いたします。
定時配送へ今後ともよろしくお願いいたします。

発注に関するお願い

1. 次の定時便まで待てる発注は、次回の定時便での発注をお願いします。

今回納品があるので「一緒にすませてあげよう」「また次回も来させるのは申し訳ない」という配慮は必要ありません。

2. 血小板製剤等の予約製剤以外は、平日日中帯での発注をお願いします。

土休日は配送の人員が限られているため、突発的に輸血が必要になった場合に限りたいと考えております。

できる限り、休前日または休日明けの定時便で発注いただけるようご協力をお願いします。

看護師対象応用編輸血セミナーのご案内

看護師対象応用編輸血セミナー

開催日：11月7日（木）
15：00～16：15

内容：輸血用血液製剤の種類と特徴
血液製剤の安全対策
輸血副作用の発生状況と事例紹介
輸血Q&A

講師：齋藤正美
（山梨県立中央病院
学会認定臨床輸血看護師）
東保一葉
（山梨県赤十字血液センター）

お申込期限：10月31日（木）

山梨県赤十字血液センター主催

昨年度参加者の声

輸血の知識はある程度持っていると思っていたが、
新しく知る知識もあり大変勉強になった。
（看護師 5～9年目）
輸血副作用の話は事例形式でとても分かりやすかった。
輸血Q&Aも即活用できると思った。
（看護師 20年以上）

看護師対象 応用編 輸血セミナー



日程 令和6年 11月7日（木） 15:00～16:15
【講義 60分 質疑応答あり】

内容
・輸血用血液製剤の種類と特徴
・血液製剤の安全対策
・輸血副作用の発生状況と事例紹介
・輸血Q&A

講師
齋藤 正美（山梨県立中央病院 学会認定臨床輸血看護師）
東保 一葉（山梨県赤十字血液センター 学術情報・供給課）

会場
オンライン（Microsoft Teams）
スマートフォンやタブレットからもご参加いただけます

申し込み方法 お申込み期日 10月31日（木）



専用フォームからお申込みください。

【アクセス方法】

- ① 右の二次元コードから直接アクセス
- ② 「山梨県赤十字血液センター」ホームページ
【輸血セミナー】ページからアクセス

参加申し込み
専用フォーム



【主催】山梨県赤十字血液センター 【後援】公益社団法人山梨県看護協会

（お問い合わせ）山梨県赤十字血液センター 学術情報・供給課（担当：東保・花形）
電話：055-251-5891（代表） メール：ygaku@kks.bbcjrc.or.jp